

に抑えたり、携帯トイレを持たせたりする工夫をしてきた。

た。

今回、災害用トイレの処理

剤などの開発・販売を手掛け

る「エクセルシア」（東京）

が協力。パネル式仮設トイレ

を組み立てた。利用者は便座

に携帯トイレを取り付け、特

殊な錠剤を入れてから用を足

すと、泡が包んでし尿が固ま

る。携帯トイレは、その場の

ごみ箱に捨ててもらい、協会

が回収する。

協会は、仮設トイレ内に使

用方法の説明書きを掲示し

た。携帯トイレは、ツアーで

はガイドが客に渡すほか、持

っていない個人客らは1個2

50円で買えるように内部に

置いておく。

乗鞍高原では、積雪期に使

えるトイレ整備を求める声が

あつた。一方、使用済みの携

帯トイレが投棄され、環境破

壊につながらかねないと心配

する向きもあつたという。協

会女性部長の中原由紀子さん

は「県内には冬のトイレに困

っている地域も多い。乗鞍モ

デルを成功させ、広く普及で

きればいい」と話している。

信濃毎日新聞2015年2月24日

冬の乗鞍高原に仮設トイレ

観光協会「携帯トイレ」で利用

のりくら観光協会（松本市

安曇）が23日、乗鞍高原の市

野外音楽堂脇に災害用の仮設

トイレを試行的に設置した。

利用者は使い捨ての「携帯ト

イレ」で用を足す仕組みで、

環境を保全しつつ、積雪期の

散策を楽しみやすくなるアイ

デアだ。3カ月間導入し、利

用状況や評判を聞き、来季以

降の本格導入を考えるとい

う。

一帯では、スノーシューパン（西洋かんじき）での高原散策や凍った滝巡りなどのツアーが人気。だが、一の瀬園地周辺のトイレ4カ所は冬季に使えず、懸案だった。ツアーを企

画するベンションやガイド会社は従来、時間を2時間ほど



仮設トイレをアピールするのりくら観光協会の中原さん（右）ら